

さくら12

津幡町立津幡中学校
3年学年だより
2024年12月号
津幡中学校校長 泉 智一
3年学年主任 谷口 亮太

学習マナー向上にクラスで取り組みました！

11月18日から11月22日の1週間、各クラスで学習マナーの向上に取り組みました。クラスの会長・副会長を中心に自分たちの授業をよりよくしていこうと声をかけあい、目標達成に向けて取り組みました。

1組 の重点学習マナーは・・・

授業の前に準備をしっかりとる!!

チェックの方法
授業が48分35分前
教科書、ノートを準備し20分。

全員 ほぼ全員 一部の生徒 一部の生徒 一部の生徒 一部の生徒

11月18日(月)	11月19日(火)	11月20日(水)	11月21日(木)	11月22日(金)

☆クラス全員が協力して取り組んでできたので良かったです。そして多くの人が取組後も継続して準備できているので、良いと思います。みなさん、ありがとうございました。(國本 太一)

☆最初は同じ人が準備を忘れていた人がとても多かった。重点マナーの取り組みが始まってからは、5分前にはみんなが教室に入り、授業が終わり次第すぐに次の授業の準備をしていて、とても良くなっていった。取り組み後も継続していきたい。(大柴 未久)

2組 の重点学習マナーは・・・

セリ替えを大切に!!

チェックの方法
2分前に授業の準備をし着手

全員準備 25人以上 15人以上 10人以上

11月18日(月)	11月19日(火)	11月20日(水)	11月21日(木)	11月22日(金)

☆この取り組みを通して、クラス全体で授業と休み時間の切り替えができる人が多くなったと思うし、学習に対する意識が大きく変わって良かったと思います。入試も近づいてきているので、これからも一つ一つの授業を大切にしていきたいと思います。本当にありがとうございました。(松本 朔弥)

☆一日目から○をつけることができ、いいスタートをきれました。また、それを継続することができたので良かったです。たまにできていない人がいたけれど、クラス全員で声かけをして、みんなで達成までやり遂げることができたのも良かったです。これからもみんなで協力して頑張っていきたいと思います。(山本 夢叶)

3組 の重点学習マナーは・・・

話すこと・聞くことの切り替えをしっかりとる!!

チェックの方法
たんのうの先生にびびる(1分)を聞く

全員準備 25人以上 15人以上 10人以上

11月18日(月)	11月19日(火)	11月20日(水)	11月21日(木)	11月22日(金)

☆授業マナー向上週間の間、はじめは意識ができていなくて、話すこと・聞くことのメリハリがしっかりできていなかった。しかし次第に意識ができてきて、花丸をつけることができたので良かったです。みなさん、ありがとうございました。(山本 にこ)

☆私たちのクラスでは、授業マナー向上のため「話すこと・聞くことの区別をしっかりとる」を目標にしましたが、まだまだできていない部分があります。しかし、声かけは取組前に比べて多くなったと思います。この調子でしっかりと勉強しましょう。(田中 克哉)

4組 の重点学習マナーは・・・

自分の意見をもち発表しよう

チェックの方法
授業中、考えを発表する場面や質問の場面はしっかりと発言する

全員の意見 ほとんどの意見 一部の意見 一部の意見

11月18日(月)	11月19日(火)	11月20日(水)	11月21日(木)	11月22日(金)

☆授業マナー向上週間を終えて、私はクラスの授業の質が向上したと感じました。また、プロ委の呼びかけに対して、応えてくれる人が多くて嬉しかったです。これからも授業マナーが向上していけば嬉しいです。そのために呼びかけを継続していきたいです。(川田 敦己)

☆クラスみんなに「声かけ」をする目標が達成できました！また、声かけで動いてくれていた人が増えてきて嬉しいです。これからも声かけ頑張ります。(宮越 雛)

5組 の重点学習マナーは・・・

X/M/Nをつける(黒板)に向かって全集中

チェックの方法
黒板・ノートに対して集中できていない人、私語を話している人、決まった時間に帰る

全集中 ほぼ集中 一部の集中 一部の集中

11月18日(月)	11月19日(火)	11月20日(水)	11月21日(木)	11月22日(金)

☆5組ではメリハリをつけることを大事にして、授業中は黒板・ノートに集中することを目標にしました。いつもより落ち着いた授業になり、自習中も静かな時間が増えていたので良かったと思います。(坂口 晴子)

☆授業マナー向上週間を通して、5組の授業態度は最初と比べ、とても良くなったと思います。今後もこのような取組を行う機会があれば、またしたいです！(廣瀬 旭)

道徳「失った笑顔を取り戻す」の感想

義肢装具士として、病気や事故などの手足を失った人のために義肢を作る白井二美男さんのお話です。白井さんはただ義肢を作るだけでなく、義足の人たちの心の痛みにも真剣に向きあうとともに、スポーツ用の義足やこれまでになかった義足を次々と開発。改良を続けています。生徒は白井さんの仕事に対する熱意や考え方に触れ、勤労の尊さや将来の生き方について考えを深めました。



仕事をする理由は様々あるけれど、誰かのために仕事をすることを目指していけるようにしたい。

仕事は自分のためや生活するためだけでなく、人を笑顔にさせたり、人の役に立てたりすることができるとうわかった。

自分はどんなことで役に立ちたいかを考えて仕事を選び、できる限りのことができるようにしたい。

義肢装具士の仕事がどれだけ人の生活に大きな影響を与えるかを感じました。ただ単に義足や義手を作るだけでなく、使用する人の気持ちや生活に寄り添いながら、その人にとって最善の選択を考えていく姿勢に心を打たれました。

勤労とは、自分のためだけでなく、他の人々の役に立つことができる行為だと気づきました。義肢装具士のように、人の笑顔や生活を支えるために働くことは、単なる仕事ではなく使命感を伴うものだと思います。

【中学校生活ラストに向けて】

受験が近づき、この3年間の皆さんの成長を振り返ると、本当に頼もしく感じます。1年生の頃は新しい環境に戸惑いながらも、一つひとつ課題を乗り越える姿がありました。2年生では自分の弱点に向き合い、克服しようとする努力が見えました。そして、3年生の今、目標に向かって真剣に挑む姿がとても輝いています。この冬休みは、さらに成長し、合格に向けて自分を磨く大切な時間です。

自分を信じ、苦しい時こそ踏ん張る力を持ち続けてください。大切なのは、できない理由を探すのではなく、どうすればできるかを考える姿勢です。この努力の先には、必ず夢に近づいた自分が待っています。あなたの頑張りを、周りの人たちも応援しています。迷わず、全力で挑み続けてください。

皆さんの努力は決して裏切りません。支えてくれる家族や仲間、先生たちの応援を力に変えて、一歩ずつ前に進みましょう。笑顔で春を迎えるその日まで、共に頑張り続けましょう！

【 高校入試 】

三者懇談を12月18日(水)～20日(金)にかけて行います。保護者の皆様、お忙しい中、足をお運びいただきありがとうございます。今回の三者懇談で「受験する私立高校が確定」となります。確定次第、Web出願・願書の記入等を進めてください。各高等学校のWeb出願を行いましたら、「内容確認書」を中学校各クラス担任へ提出をしてください。そして、担任確認が終わってから、検定料・受験料入金をお願いします。

[1月7日(火)予定] 3学期始業式

1限…始業式 2限…学活 3限～6限…(火)1～4限

(持ち物) 筆記用具、「一步」、授業準備、書き初め、エスマ

冬休み課題(講座学習 教・理・英 8コース、チェックテスト、ナビP48～53)

[1/9(木)]

第4回河北郡市統一テスト(国理英社数) 放課後 専門委・プロ委

